

ものづくり体験 2025

開催報告書

ものづくり体験 2025 事務局
長崎総合科学大学 日當明男

長崎総合科学大学(以下、長総大)は、多くの地元企業の協力を得て、今年も以下のように開催した。

イベント名：ものづくり体験 2025

主催：長崎総合科学大学

後援：長崎県、

九州西部地域大学・短期大学連合産学官連携プラットフォーム(QSP)

協力企業等：イサハヤ電子株式会社、中興化成工業株式会社、メルコアドバンスデバイス株式会社、小柳畳商店、みやざき整骨院

開催日時：2025年7月27日(日)

午前の部 10:30~12:30 (受付 10:00)

午後の部 14:30~16:30 (受付 14:00)

開催場所：長崎総合科学大学附属高等学校

開催目的：小中学生に理工系分野の楽しさを伝え、興味関心を引き出すことで、県内の理工系人材の育成を目指す。また、家庭では難しい実験や体験の場を提供して、親子でのふれあいの機会とする。

想定参加者：小学生を中心に中学生を含む

体験教室：全9教室、[]内は体験者の定員(午前、午後の部それぞれ)。

①こどもロボット教室[20組]*：本学下島真教授

②ヒトの肺を作ってみよう[20人]*：本学土居二人准教授

③電子工作教室[15人]：イサハヤ電子株式会社

④光通信を体験しよう[18組]：メルコアドバンスデバイス株式会社

⑤組み立て体験[15人]：中興化成工業株式会社

⑥ロボットプログラミング中級編[10組]：本学佐藤雅紀教授

⑦「印刷する」アクセサリ[20人]*：本学附属高長郷繁雄教諭

⑧微生物を使った発酵実験[10人]：本学中道隆広准教授

⑨ミニ畳製作体験[30人]*：小柳畳商店

* の体験教室は、午前の部および午後の部の2時間において、1時間交代制で定員の半数を入れ替えて実施する。

また、①「こどもロボット教室」の1組を平均1.5人、④「光通信を体験し

「ものづくり体験 2025」 開催報告書

よう」と⑥「ロボットプログラミング中級編」の1組を平均1人と想定すると、午前または午後の部のそれぞれの全体験教室の想定定員は168人(前年比18人減)。午前・午後を併せると336人(前年比36人減)。

飛び入り体験教室：今回初めて企画で、定員は設けない。

- A. 腕ロボット操作体験：本学佐藤雅紀教授研究室
- B. 理科の教室：本学元准教授繁宮悠介氏
- C. 缶バッジ制作体験：長崎県立大学金子照之教授

その他：体験教室以外の提供サービス等

- a. 無料マッサージサービス：みやざき整骨院
- b. カレー提供(有料)：株式会社ミライステラス

1. 開催に向けたオンライン会議(7月7日(月))

(1)メンバー紹介

出展する体験教室の担当者の自己紹介と体験教室の概要紹介

(欠席：本学中道准教授、中興化成工業様、メルコメルコアドバンストデバイス様)

(2)特設サイト

- 昨年同様に開設し、今年は、抽選結果の発表をこのサイトに一本化

(3)案内チラシの確認

- こちらの手違いで長崎県の後援承認が遅れて、長崎県は「(予定)」との記載になった。
⇒注文翌日に長崎県からの後援依頼が届いた。大きな反省点である。
- 長崎8,000部、諫早8,000部の16,000部を注文し、小学校のみに配布
⇒後日の情報で、諫早市はpdfでの配布も可能との事なので、来年はpdf配布。

(4)使用会場の案内と体験教室の提案

- 入口を1階に移動する(前回の反省を基に)
- ③「電子工作教室」の作成物による探索ゲームの実施場所として、図書室を許可。
それに応じて、3階の配置案で③と⑤を交換
- 飛び入り体験教室Aを、配置案で3階の保護者控室Cで開催したい。これも許可。

(5)実施要領(案)の確認

- タイムテーブルは昨年を踏襲。今年は、駐車場案内を外部業者へ委託する事を検討
- 開催前日(7/26)は高校側の担当者不在のため、その前日に7/25(金)に机や椅子の移動および機材等の搬入を行い、当日の朝(8:00)からすべての会場で準備する。

(6)今後の予定

- 開催に向けた調査
体験教室の下見希望、各体験教室に必要な机と椅子の数、スタッフとしての参加人数、昼食(カレー+飲み物:¥1,000)の注文、イベント後のBBQの参加希望
- 受付締切後の体験教室の選考依頼
7/16(水)に応募状況のExcelファイル配布。第1次の選考結果は7/18(金)に予定。
選考結果の発表はすべて特設サイトにて行う。

- 応募の際に、学校名の記載はないのか。[選考の参考にしたい]
⇒学校名は入力に手間がかかるので、居住地区の選択なら可能かも。来年検討

2. 体験教室等の概要

(1)出展体験教室(定員は、午前の部、午後の部のそれぞれの体験者の受入数)

①こどもロボット教室

担当者：下島真(長総大・知能)、原田康平(長総大)

定員：定員 20 組(60 分で半数ずつの 2 交代制)：想定定員 30 人

対象：小学全学年(保護者同伴)

概要：パソコンを使わずにロボットを思い通りに動かしてみよう！ 1 組 2～3 人が良いので、親子か兄弟や、仲の良いお友達と一緒に申し込んでね。

②ヒトの肺を作ってみよう

担当者：土井二人(長総大・医療)

定員：定員 20 人(60 分で半数ずつの 2 交代制)

対象：小学全学年(保護者同伴)、中学全学年

概要：最先端の人工呼吸器に触れながら、生きるために必要なヒトの模擬肺を作ってみよう

③電子工作教室

担当者：武次顕弘、近藤あや子(イサハヤ電子株式会社)

定員：定員 15 名

対象：小学高学年(保護者同伴)

概要：半導体や半田ごてを使って、金属探知機を作ります。できた金属探知機でちょっとしたゲームも行います！

④光通信を体験しよう

担当者：平田弦也(メルコアドバンスデバイス株式会社)

定員：定員 18 組：想定定員 18 人

対象：小学高学年(保護者同伴)、中学全学年

概要：送信機と受信機を実際を作って、「光」から「音」を聴いてみよう！

⑤組み立て体験

担当者：井村恵美(中興化成工業株式会社)

定員：定員 15 名

対象：小学全学年(保護者同伴)、中学全学年

概要：スーパープラスチックの部品を作って自分だけのオリジナルおもちゃを組み立てよう！

⑥ロボットプログラミング中級編[10 組]

担当者：佐藤雅紀(長総大・知能)

定員：定員 10 組：想定定員 10 人

対象：小学高学年(保護者同伴)

「ものづくり体験 2025」 開催報告書

概要：LEGO でできたロボットにプログラミングして、コースの線に沿って走らせよう！

注意：機材の都合上、1組にロボット1台となります。

⑦「印刷する」アクセサリ

担当者：長郷繁雄(長総大附属高)

定員：定員20名(60分で半数ずつの2交代制)

対象：小学全学年(保護者同伴)、中学全学年

概要：パソコンで図形のデータを作り、3Dプリンタでアクセサリを印刷する。図面も持ち帰れます。

⑧微生物を使った発酵実験

担当者：中道隆広(長総大・生命環境)

定員：10名

対象：小学全学年(保護者同伴)、中学全学年

概要：微生物の力で砂糖がアルコールに変わる発酵実験！

⑨ミニ畳製作体験

担当者：小柳竜士(小柳畳商店)

定員：定員20名(60分で半数ずつの2交代制)

対象：小学全学年(保護者同伴)

概要：日本の文化である畳。畳職人さんから教えてもらい、オリジナルのミニ畳をつくってみよう！

(2)飛び入り体験教室(定員は設けず、対象も来場者全体)

A. 腕ロボット操作体験

担当者：佐藤雅紀(長総大・知能)研究室

概要：腕だけのロボットですが、モノを掴んで移動させることができます。

B. 理科の教室(リカキョウ)

担当者：繁宮悠介(長総大元准教授)

概要：2025年から始まった、理科を楽しく体験する塾の体験教室です。

C. 缶バッジ制作体験

担当者：金子照之(長崎県立大学教授、本学元講師)

概要：オリジナルの缶バッジを作成できます。

(3)その他：体験教室以外の提供サービス等

a. 無料マッサージサービス

担当：みやざき整骨院

概要：無料のマッサージサービスを提供。

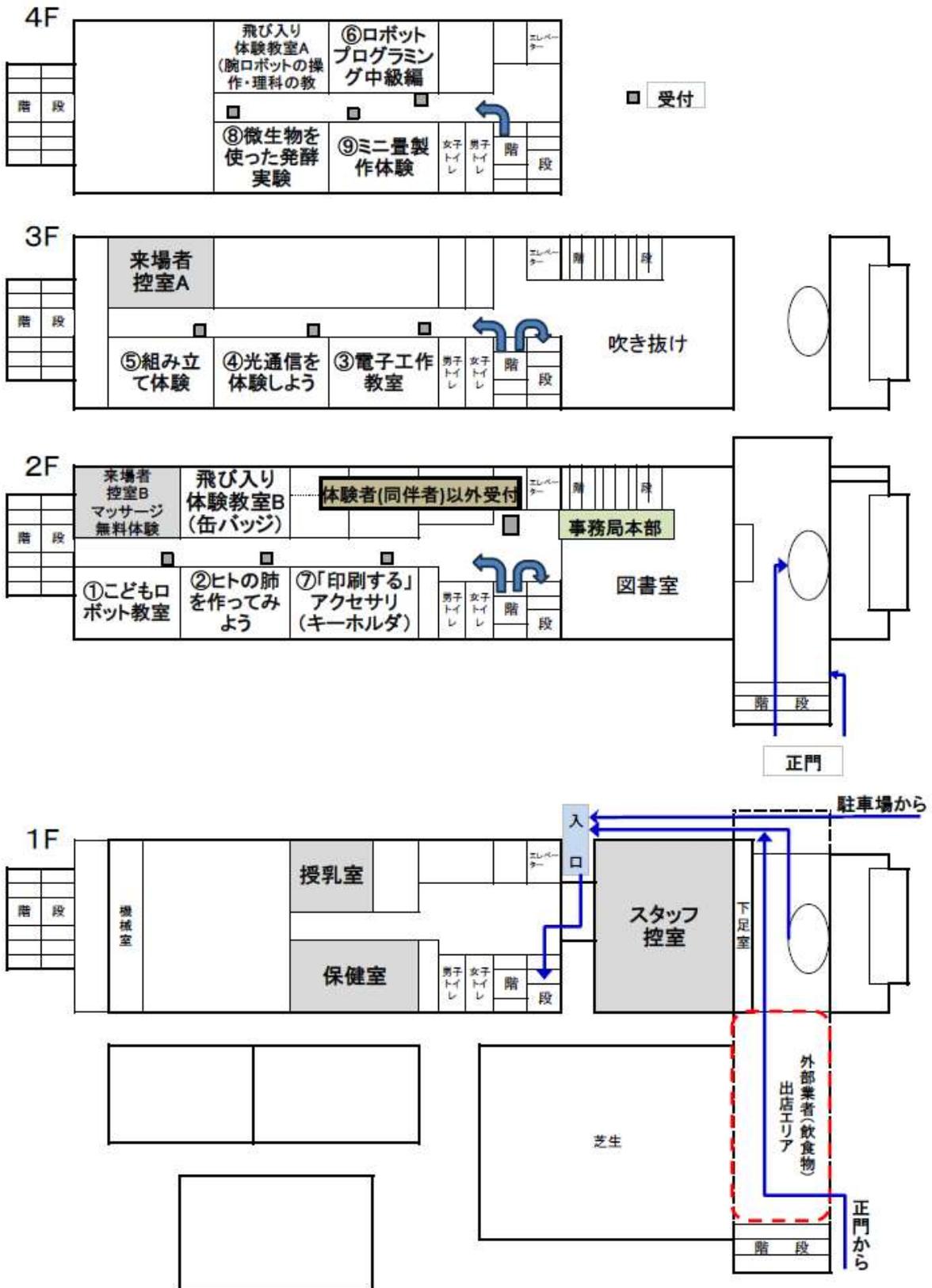
b. カレー提供(有料)

担当：株式会社ミライステラス

概要：スタッフの昼食を中心に、イベント来場者へも提供。

3. 長総大附属高内使用教室配置

ものづくり体験2025 使用教室



4. 参加登録状況と選考

今年の応募締切が、7月15日(火)と早まったにもかかわらず、チラシの配布が遅れて、小学生に届いたのは、長崎地区で7/4(金)頃、諫早地区では7/10(木)頃になった可能性がある。そこで、締切を

7月16日(水)8:00

に僅かながら延長した。この延長した時間内に17件の応募があった。また、今年の体験教室に未就学児を対象とする教室が無かった。一方で、一部の小学校の児童の保護者から、当イベントのチラシが配布されなかったとの情報もあった。このような状況もあってか、応募(参加登録)総数は昨年の約60%と少なかった。

(1)体験教室応募状況

7/16(水)8:00時点における応募状況は以下の通りである。ここで、()内は前年の状況。

	応募数	体験者数
本登録	312(518)件	422(802)人
キャンセル	16(38)件	21(59)人
有効登録	296(480)件	401(743)人

なお、応募は個人で何回でも可能なので、応募数および体験者数ともに重複があるので、応募状況や選考状況の表内の数はいずれも延べ数であることに注意する。以下では、本登録まで進んだ有効登録の範囲内で集計する。

上表の有効登録(296件、401人)内での体験希望者の学年等は以下の通りである。

有効登録	体験希望者 ()内は前年の状況					
	未就学児	小学1~3年	小学4~6年	中学生	未記入	合計
296件	0(144)人	199(364)人	179(219)人	19(12)人	4(4)人	401(743)人

今年は、未就学児を対象とした体験教室が無かったため、未就学児の応募は無かった。また、有効登録での第1希望の各体験教室の応募(登録)状況は以下の通りである。

体験教室[各部の想定定員]	午前の部		午後の部		合計	
	登録数	体験者	登録数	体験者	登録数	体験者
①こどもロボット教室 [20組。想定30名]	24件	34人	13件	18人	37件	52人
②ヒトの肺を作ってみよう [20人]	12件	19人	17件	22人	29件	41人
③電子工作教室 [15人]	20件	22人	10件	12人	30件	34人
④光通信を体験しよう [18組。想定18名]	2件	2人	3件	3人	5件	5人
⑤組み立て体験 [15人]	27件	34人	20件	25人	47件	59人
⑥ロボットプログラミング中級編 [10組。想定10人]	13件	19人	3件	3人	16件	6人
⑦「印刷する」アクセサリ [20人]	42件	60人	17件	27人	59件	87人

「ものづくり体験 2025」 開催報告書

⑧微生物を使った発酵実験 [10人]	20件	25人	9件	14人	29件	39人
⑨ミニ畳製作体験 [30人]	27件	41人	17件	21人	44件	62人
計【想定定員計 168人】	187件	258人	109件	145人	296件	401人

有効登録での第2希望の各体験教室の応募(登録)状況は以下の通りである。ここで、第2希望においては「午前・午後どちらでもよい」と「第2希望の選択なし」の選択肢もある。

体験教室[定員]	午前の部		午後の部		どちらでも		合計	
	登録数	体験者	登録数	体験者	登録数	体験者	登録数	体験者
①こどもロボット教室 [20組。想定30名]	15件	21人	11件	13人	6件	8人	32件	42人
②ヒトの肺を作ってみよう [20人]	11件	13人	12件	17人	7件	8人	30件	38人
③電子工作教室 [15人]	6件	9人	8件	10人	4件	4人	18件	23人
④光通信を体験しよう [18組。想定18名]	3件	3人	7件	9人	2件	3人	12件	15人
⑤組み立て体験 [15人]	22件	31人	19件	24人	7件	10人	48件	65人
⑥ロボットプログラミング中級編 [10組。想定10人]	8件	8人	5件	6人	6件	7人	19件	21人
⑦「印刷する」アクセサリ [20人]	23件	32人	15件	19人	11件	19人	49件	70人
⑧微生物を使った発酵実験 [10人]	10件	16人	10件	13人	6件	8人	26件	37人
⑨ミニ畳製作体験 [30人]	16件	24人	11件	17人	8件	15人	35件	56人
小 計	114件	157人	98件	128人	57件	82人	269件	367人
第2希望の選択なし							27件	34人
合 計							296件	401人

(2)選考状況

開催前日(7/26)15:00時点で、最終の選考結果を特設サイトにて発表した。参加登録締切(7/16(水)8:00)以降にキャンセルが10件(17人)あり、最終選考結果は合計で登録数286件、体験者384人であった。前年登録数303件、体験者443人であったので、体験者で約13%減である。選考状況の内訳は次の通り。

体験教室[定員]	午前の部		午後の部		合計	
	登録数	体験者	登録数	体験者	登録数	体験者
①こどもロボット教室 [20組。想定30名]	12/10件	19/14人	10/11件	13/16人	43件	62人
②ヒトの肺を作ってみよう [20人]	10/5件	15/6人	11/6件	14/8人	32件	43人
③電子工作教室 [15人]	15件	15人	13件	15人	28件	30人
④光通信を体験しよう	3件	3人	5件	6人	8件	9人

「ものづくり体験 2025」 開催報告書

[18組。想定 18名]							
⑤組み立て体験 [15人]	11件	16人	12件	15人	23件	31人	
⑥ロボットプログラミング中級編 [10組。想定 10人]	7件	9人	5件	6人	12件	15人	
⑦「印刷する」アクセサリ [20人]	8/6件	10/10人	8/5件	10/10人	27件	40人	
⑧微生物を使った発酵実験 [10人]	7件	9人	7件	10人	14件	19人	
⑨ミニ畳製作体験 [30人]	11/12件	15/17人	10/9件	15/11人	42件	58人	
小計【想定定員計 168人】	117件	158人	112件	149人	229件	307人	
いずれの体験教室にも落選					57件	77人	
合 計					286件	384人	

※ 60分交代制の体験教室では、「前半数/後半数」と表す。

5. イベント当日参加状況

前日までの選考結果は前述のとおりであるが、当日の参加状況は以下の通り。

体験教室[各部の定員]	午前の部		午後の部		合計	
	体験者	同伴者	体験者	同伴者	体験者	同伴者
①こどもロボット教室 [20組。想定 30名]	18/13人		12/16人		30/29人	
②ヒトの肺を作ってみよう [20人]	13/4人		12/5人		25/9人	
③電子工作教室 [15人]	11人		14人		25人	
④光通信を体験しよう [18組。想定 18名]	5人		4人		9人	
⑤組み立て体験 [15人]	15人		15人		30人	
⑥ロボットプログラミング中級編 [10組。想定 10人]	9人		4人		13人	
⑦「印刷する」アクセサリ [20人]	11/9人		9/12人		20/21人	
⑧微生物を使った発酵実験 [10人]	9人		12人		21人	
⑨ミニ畳製作体験 [30人]	15/14人		12/14人		27/28人	
小計【想定定員計 186人】	146人		141人		287人	
合 計	146人		141人		287人	

※ 60分交代制の体験教室では、「前半数/後半数」と表す。

※同伴者の集計方法に統一性が無かったため、集計しなかった。

前年の当日の体験者は 398 人であったので、今年の体験者は約 18%減であり、午前の部および午後の部ともに想定定員を下回った。これは、応募者が少なかった事も原因ではあるが、前年まではできるだけ多くの子供たちに体験させようとの配慮から定員を超えて選考する事もあったが、実際の体験指導が十分であったか、との反省もあったようだ。

6. 開催当日運営状況

体験教室内の運営は体験教室のスタッフに任せていたが、イベント全体に関わる運営は本部が担っていた。本部が担った主な業務は以下の通り。

◎体験教室の受付

体験教室の受付は、それぞれの体験教室の前で行い、その業務は基本的に本部に配置された高校生が担った。

◎会場駐車場での誘導案内

会場に隣接する駐車場には 150 台を超える駐車スペースがあるが、このスペースを有効に活用するために、駐車場への案内と個々の駐車スペースへの誘導を行った。これらの業務は外部 3 名と大学職員 1 名が担当した。また、今年のイベントでの入口を 1 階に変更したため、駐車場から会場入り口までの誘導員として高校生 1 名を配置した。

◎会場入り口での上履きへの履き替えや体験教室への誘導

会場が高校の校舎なので、上履きに履き替えてもらう必要があり、履き替えた外履きを入れる袋(レジ袋)を用意し、それを会場入り口にて来場者に配布した。また、入口から体験教室までの案内図も配布し、誘導も行った。これらの業務は主に高校生に担ってもらった。

◎保健室・授乳室

高校の保健室とカウンセラー室を借用して、当イベント中の保健室と授乳室として利用した。保健室では特に熱中症への対策を重視した。ここには、大学職員 1 名を配置した。当初、授乳室用として会議室を予定していたが、高校教員のアドバイスを受けてカウンセラー室を利用させてもらうことにした。

◎記録

当イベントの実施状況を記録するために、イベント開催中に会場内で写真を撮ってもらった。そこで撮られた写真は以下の URL にて公開している。この業務には、大学職員 1 名を配置した。

<https://nias.ac.jp/news/archives/3185>

7. 開催当日のイベント保険

契約保険会社：AIG 損害保険株式会社

保険種類：普通傷害保険

保険契約日：7 月 23 日

保険期間：2025 年 7 月 27 日 0 時～24 時

被保険者数：700 名

保険料：17,500 円

8. 当日参加者の感想：参加後の Google フォームやアンケート用紙による(111 件回収)

一部の小中学生の回答は、保護者が代わって回答し、親としての感想もある。

◎設問内容

(1) 回答者の属性(小学低学年、小学高学年、中学生、保護者、その他)

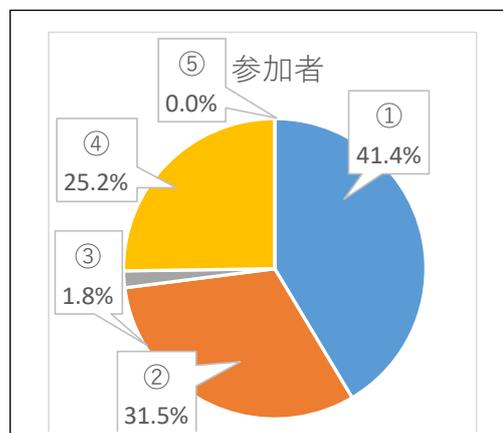
(2) お住まいの地域(長崎市(市街地)、長崎市(東長崎地区)、諫早市、その他)

「ものづくり体験 2025」 開催報告書

- (3) 参加した時間帯(午前、午後)
- (4) 体験(参加)した体験教室
- (5) 楽しかったか(5段階。0：つまらなかった、4：とても楽しかった)
- (6) 楽しかった所、つまらなかった所(記述式)
- (7) 将来、科学系の仕事に就き(就かせ)たいか(5段階。0：全然思わない、4：強く思う)
- (8) 感想

(1)回答者の属性

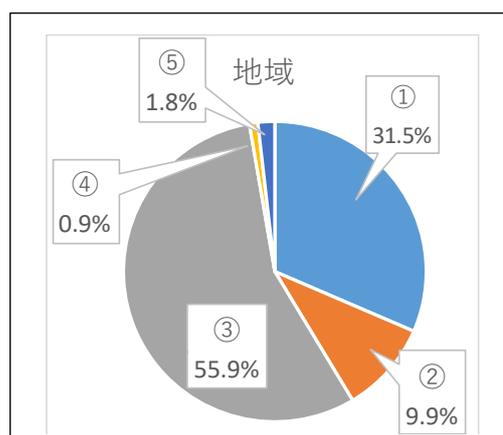
属性	人数	割合
①小学低学年	46人	41.4%
②小学高学年	35人	31.5%
③中学生	2人	1.8%
④保護者	28人	25.2%
⑤その他	0人	0.0%
計	111人	100%



(2)お住まいの地域

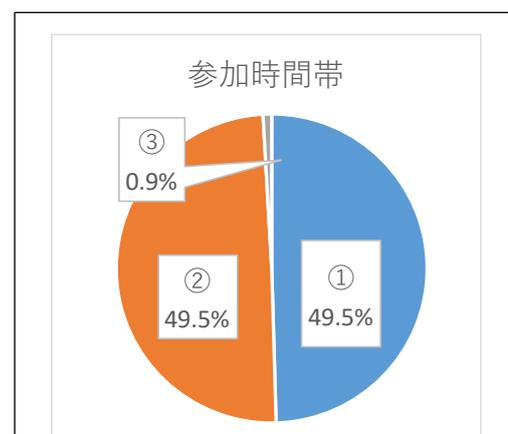
参加時間帯	人数	割合
①長崎市(市街地)	35人	31.5%
②長崎市(東長崎)	11人	9.9%
③諫早市	62人	55.9%
④その他	1人	0.9%
⑤未記入	2人	1.8%
計	111人	100%

※その他の地域：時津町



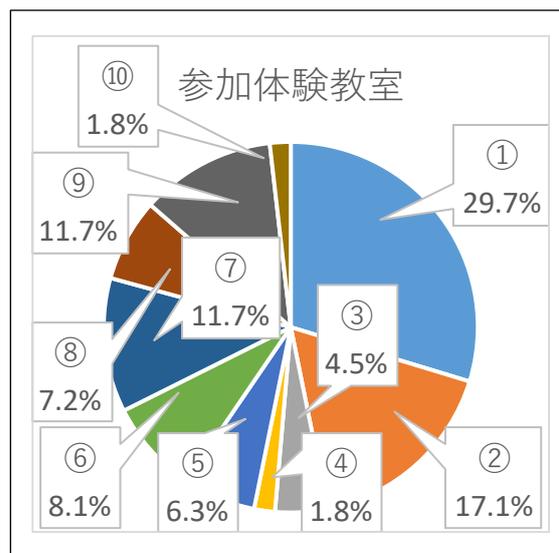
(3)参加した時間帯

参加時間帯	人数	割合
①午前	55人	49.5%
②午後	55人	49.5%
③未記入	1人	0.9%
計	111人	100%



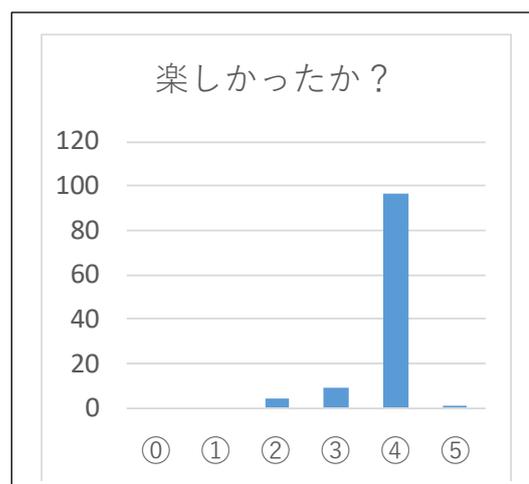
(4)体験(参加)した体験教室

体験教室	人数	割合
①こどもロボット	33人	29.7%
②ヒトの肺を作ろう	19人	17.1%
③電子工作教室	5人	4.5%
④光通信を体験しよう	2人	1.8%
⑤組み立て体験	7人	6.3%
⑥ロボット中級編	9人	8.1%
⑦「印刷する」	13人	11.7%
⑧発酵実験	8人	7.2%
⑨ミニ畳	13人	11.7%
⑩未記入	2人	1.8%
計	111人	100%



(5)体験教室は楽しかったか？(5段階。未記入を除いた平均3.78)

楽しかったか？	人数	割合
①全然つまらなかった	0人	0.0%
②つまらなかった	0人	0.0%
③ふつう	4人	3.6%
③楽しかった	9人	8.1%
④とても楽しかった	97人	87.4%
⑤未記入	1人	0.9%
計	111人	100%



※「③楽しかった」「④とても楽しかった」を併せると、96人(95.5%)が当イベント「ものづくり体験 2025」を楽しく感じていた。

(6)どういう所が楽しかったですか。つまらなかったですか。

◎体験者の意見(一部)

体験教室	楽しかった所
①	ロボットを命令通り動かすのが、なかなか指示をうまく読ませれず、失敗も面白かった
	欲しくなった、もっとやりたかった
	ロボットがめいれいにしたがつうごいていたし、ゴールするとくるくる回っててかわいかった。
②	はいを作るところ
	人間の肺を作る所が楽しかったです。
	横隔膜を作るのが楽しかった

「ものづくり体験 2025」 開催報告書

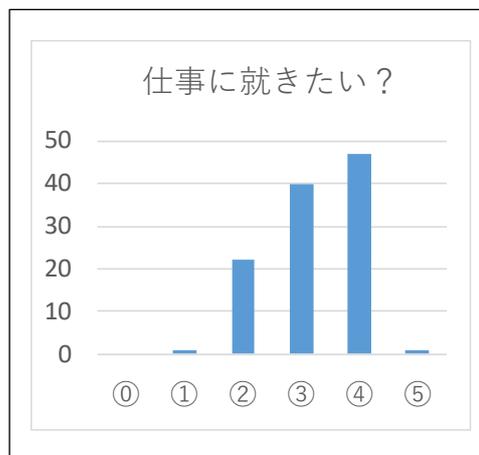
③	物を作る楽しさ。
	部品を切ったりはめたり、半田ごてを使ったりするところが楽しかった。
	図書室でお宝探しゲームが楽しかったです！
④	繋がってない線なのに、音が聞こえることがおもしろかった。
	一つ経路が違うだけで繋がらなくなるのが不思議だった。
⑤	くるまのくみたて
	ネジを作るところが楽しかった。
	ねじを作ったりする所から色ぬりまですべて自分で体験できた。
⑥	自分の命令でロボットが動くところ
	トライ・アンド・エラーで何度も挑戦できるところ
	プログラミングをロボットにするのが楽しかった。
⑦	自分でキーホルダー考えたところ
	3D プリンターを使って、好きな色のキーホルダーを作れたところ
	お兄さんがパソコンの操作を優しく教えてくれて自分で考えたキーホルダーが作れた事。
⑧	興味があった発酵について学べたところが楽しかった
	実験のとき、35℃と室温のガス量がどんどん変わって行って、最後に飛んだのが楽しかったです。実験🧪がとても楽しかったです。
	目盛りがどんどんあがっていくところ
⑨	タッカーで留めるところが楽しかった。
	フチの柄を選ぶのが楽しかった
	自分が気に入った柄で畳を作れたところが楽しかった。

◎保護者の意見(一部)

楽しかった所・そうでもなかった所
高校生の子ども達が積極的に話しかけてもらえて、子供達が楽しめました。
理科を学習する前に実験に参加できて、興味の形成になったかなと思う
一緒に考えて作業できたところが楽しかったです。
光と音の仕組み、大人も充分楽しめました
子供達の上達が速いのが見ていて楽しかった
畳の材料に実際に触れて、自分の手でミニ畳を作れたことがとても楽しかったです。普段は見られない道具を使ったり、職人さんの話を聞いたりして、日本の伝統にふれられたのが新鮮でした。時間があっという間に感じました。
失敗を繰り返しつつ、どんどん良いものが出来ていき、子供の表情も生き生きして、見ているだけでも楽しかったです。
キッズシアターのように衣装まで用意していただいて、雰囲気まで最高ですね。ありがとうございました。
大学の先生からマンツーマンでしっかり丁寧に教えて頂けて、楽しかったです。
3D プリンターでアクセサリができたから。マッサージしてもらって姿勢もよくなり、缶バッジもできたから。
生徒さんがほぼ操作していて、ずっと座っているだけだったので、あまり楽しめなかったです

(7)将来、科学系の仕事に就き(就かせ)たいと思うか？(5段階。未記入を除いた平均 2.95)

就き(就かせ)たいと思うか？	人数	割合
①全然思わない	0人	2.2%
②あまり思わない	1人	4.5%
③よくわからない	22人	22.1%
④少しは思う	40人	34.8%
④とてもそう思う	47人	33.0%
⑤未記入	1人	3.4%
計	267人	100%



(8)感想(今後への改善や要望も含む)

◎体験者の感想(一部)

感想(今後への改善や要望も含む)
まだまだ時間があつたら、もっとしたいと思いました。
大学生のお兄さんが分かりやすく教えてください、さらに先生はもっと楽しそうに教えてくださったのが印象的でした。ありがとうございました！
今までしたことがないことができて、科学に夢中になりました。また参加したいです。
もっと長くやりたかった。
中学を卒業したら、ここに入学したい。
お兄ちゃんにおしえてもらって、うれしかったです。
とてもたのしかった。また来たい。
楽しかった。またきたいです。
たのしかった。

◎保護者の感想(一部)

感想(今後への改善や要望も含む)
実験の内容も、先生の話も、めちゃくちゃおもしろかったです。息子達も楽しんで、すごく良い体験が出来ました。ありがとうございました。
作ったものを持ち帰れたら更によかった
子供がイベントをずっと楽しみにしていたので、参加できて本当に良かったです。待ち時間にできる缶バッジ作りや、折り紙のコーナーがあったのがとても良かったです。太鼓の達人のゲームコーナーも賑わっていて、子供達が楽しめるような工夫がたくさん感じられました。
楽しいイベントをありがとうございました。
初めて当選しました。楽しかったです。
昨年もプログラミングに参加しました。去年はゲームを作るので、今年はロボットを走らせるので、違うプログラミングを体験できてよかったです。
早く着いてしまったのに、快く対応して頂きすごく楽しめました。また機会があれば是非参加したいです。

「ものづくり体験 2025」 開催報告書

とても楽しかったです。特にマッサージは大人にとっても最高でした。
親切に指導していただきありがとうございました。子供にちょうどよいキットになっていると思います。資料の中身は少し難易度がありましたが、仕方ないと感じました。皆さんの仕事に対する熱意も伝わってきました。我が国の工業分野のさらなる発展を願います。
前は別の体験をしたのですが、子供には少し難しかったです。今回の体験は一人でできる事が多く、楽しんでいました。
また開催されたら、参加したい
スタッフの方も親切でありがたかったです
今までしたことがないことができて、科学に夢中になりました。また参加したいです。
子どもが楽しそうに取り組んでいたのも、来年もまた参加させたいです。

今後への改善や要望
きょうだいそれぞれ体験をするので、各体験の大体かかる時間をあらかじめ把握できると、助かります。
PCでデザインするにあたって、全く知識がないので、先に仕上がりのサンプルを見せていただけたら、色や形、フォント、サイズ感等想像しながらできたかな？と思いました。
大満足で改善点はないのですが、大学の学部や授業の紹介と、この体験プログラムとの関連が分かれば、子どもも保護者ももっと興味関心が高まると思います！去年に引き続き参加しました！来年も楽しみにしています。
自由参加の企画が内容薄く感じた
高学年の子は説明が理解できていたが、低学年の子には説明が理解できていなかったもので、低学年の子にもわかりやすい説明があったらと思います
学生さんがもっと子どもにどんどん話しかけてもらっていいと思います。間違いなく親より年が近いので！
入口が分かりにくいと思いました
体験自体はすぐ終わったので、2~3個くらい体験ができれば良かったなと思いました。
保護者の待機場所まで遠く、見守るにしても長時間になるなら椅子が欲しかった。記載された受付時間に行ったにも関わらず、早すぎるのでどこかに行って欲しいと言われ少し困ってしまいました。待つ場所がなく、受付がすぐ終わるのであれば受付時間をもっと遅くして欲しかった。
複数の教室に参加できるとよかった
小学生未満でも参加できたら嬉しかった。
2日間でイベントを開催したら良いと思った
駐車場からの受付への案内が欲しかった。
子ども達の誘導や事前の説明等の際に戸惑っている子が多かったので、完成品を見せる等して工夫したら、もっと良かったと思います。
登録なしで体験できるブースがある事を知らなかったので予約時間に合わせて入りました。早く来ればもっと楽しめたのにと残念だったので、お知らせに少し入れてもらおうと良かったのに、と思いました。
入り口にイベントの掲示板を置いた方が良いでしょう。
教えてくれた生徒さん自身も操作がわからないことが多く、私たちも困惑しました。
肺の働きや仕組みについて、簡単な講義もあればさらによかったと思います。
当選番号がわかりにくかったです。後半に当選したのに前半にありました。
生徒主体で素晴らしいと思います。ただ、子どもたちへの声かけ、参加する子供の主体性

「ものづくり体験 2025」 開催報告書

をもう少しだけ持たせるようにされたら、良いと感じました。
カレーが売り切れで残念でした
参加人数がもっと多くできたらいいなと感じた